

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2018年2月号(第38号)



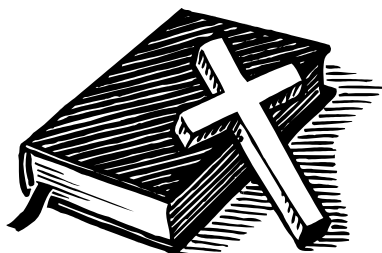
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日ことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。

【マタイの福音書 6章 34節】

心配や不安が心を支配する時、生きるのが億劫になることがあります。多くの人は、安心よりは心配が心を支配することが多いかもしれません。私たちは自分の手ではどうにもできないことに不安を覚え、心配になります。その最たるものは未来のことでしょう。「今」はどうにかして乗り越えることができるかもしれませんが、「未来」「明日」のことは「今日の私」ではどうすることもできません。そのような私たちに、イエス様は次のように言われました。「ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日ことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。」

この言葉を語る直前には、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、

心配しなくて良い、と言っておられました。空の鳥を例にあげ、鳥は種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それは、神が鳥を養っておられるからです。人は、鳥よりも価値ある存在です。その人間のことを神が養ってくださらないはずがないのだから、心配しなくて良いと言われました。神は、人間を特別な存在として造られました。他の動物とは違って、人間だけは特別な存在として創造されたことが聖書に記されています。そうであるならば、その人間のことを神がお見捨てになるはずがないのです。それゆえに、イエス様は次のようにも言われました。「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」

イエス様は、様々なことを心配する前に、まず神を第一に、神を求めて生きるように言われました。そうすれば、食べ物、飲む物、着る物は全て与えられる、と約束してくださいました。しかし、多くの人はその順序が逆になり、神を求めることをせず、明日の心配ばかりに心が奪われ、不安に心が支配されてしまいます。すると悪循環に陥って心が落ち着かない日々が続くこととなります。今から 2000 年前のイエス様が生きておられた時代は、食べる物、飲む物、着る物を心配することが多かったのでしょう。現代においては、老後のこと、受験のこと、就職のことなど、将来に対する心配事が多いかもしれませんが、そのことに対しても対処の仕方は変わりません。聖書が語るのとは神を求めて生きなさい、ということです。本気で私たちがそのような生きる時、あらゆる心配事は取り除かれます。聖書が約束しているところに立つことができるな

らば、あとは神が解決を与えてくださるのを安心して待つことができます。空の鳥を神が養っておられるのなら、なおのこと特別な存在として造られた私たちに神が最高のものをご用意くださらないはずがありません。明日のこと、将来のことで心配に心が満たされているあなた！聖書は神を求めて生きるように語りかけています。そうするならば、明日のことを心配する必要がなくなります。苦労はその日その日に十分あるわけですから、明日のことは神にお任せしつつ、今日を誠実に生きていきましょう。

◆コラム

当教会の紹介第四弾です。教会にはどんな人たちが集まっているのか書いていきます。教会には様々な人たちが集まります。年齢は 80 歳を超える方から 0 歳児までおりますし、主婦、会社員、看護師、介護士、学校の先生、学生など様々な人が集っています。聖書では教会を人間のからだに喩えています。教会には体に目や耳や鼻や口、手や足があるように、様々な特徴を持った人たちが集います。それゆえに、教会は豊かです。お互いの違いを認め合い、神様が一人一人を豊かに造られたことを喜びます。もちろん様々な人が集いますから課題もありますが、それらを解決していくことも教会の醍醐味です。

～集会案内～

- 日曜日：聖日礼拝 11:00～12:30 ○水曜日：聖書研究祈禱会 10:30～12:00
 教会学校 10:00～10:40（子どもから大人まで） 19:30～21:00
- 毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00（子育てなどをしている方のための集い。）

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。